【貿易関係証明発給システム】TSVインポート機能利用マニュアル

日本商工会議所　国際部

2024年10月更新

内容

[１．概要 2](#_Toc64030278)

[２．TSVファイル（指定様式）について 3](#_Toc64030279)

[（１）TSVファイルの作成 3](#_Toc64030280)

[（２）TSV定義書 3](#_Toc64030281)

[（３）サンプルファイル 3](#_Toc64030282)

[３．TSVインポート機能の利用方法 4](#_Toc64030283)

[（１）画面操作の流れ 4](#_Toc64030284)

[４．その他の事項 8](#_Toc64030285)

[（１）エクセルから作成するTSVファイルの文字コード確認・変換方法 8](#_Toc64030286)

# １．概要

本機能は、原産地証明書（日本産）発給申請入力画面において、TSVファイル（指定様式）の取り込みにより入力を行う機能です。

※ファイルの提出により申請が完了する機能ではありません。あくまで「TSVファイルの内容を入力画面に反映する機能」となります。



# ２．TSVファイル（指定様式）について

## （１）TSVファイルの作成

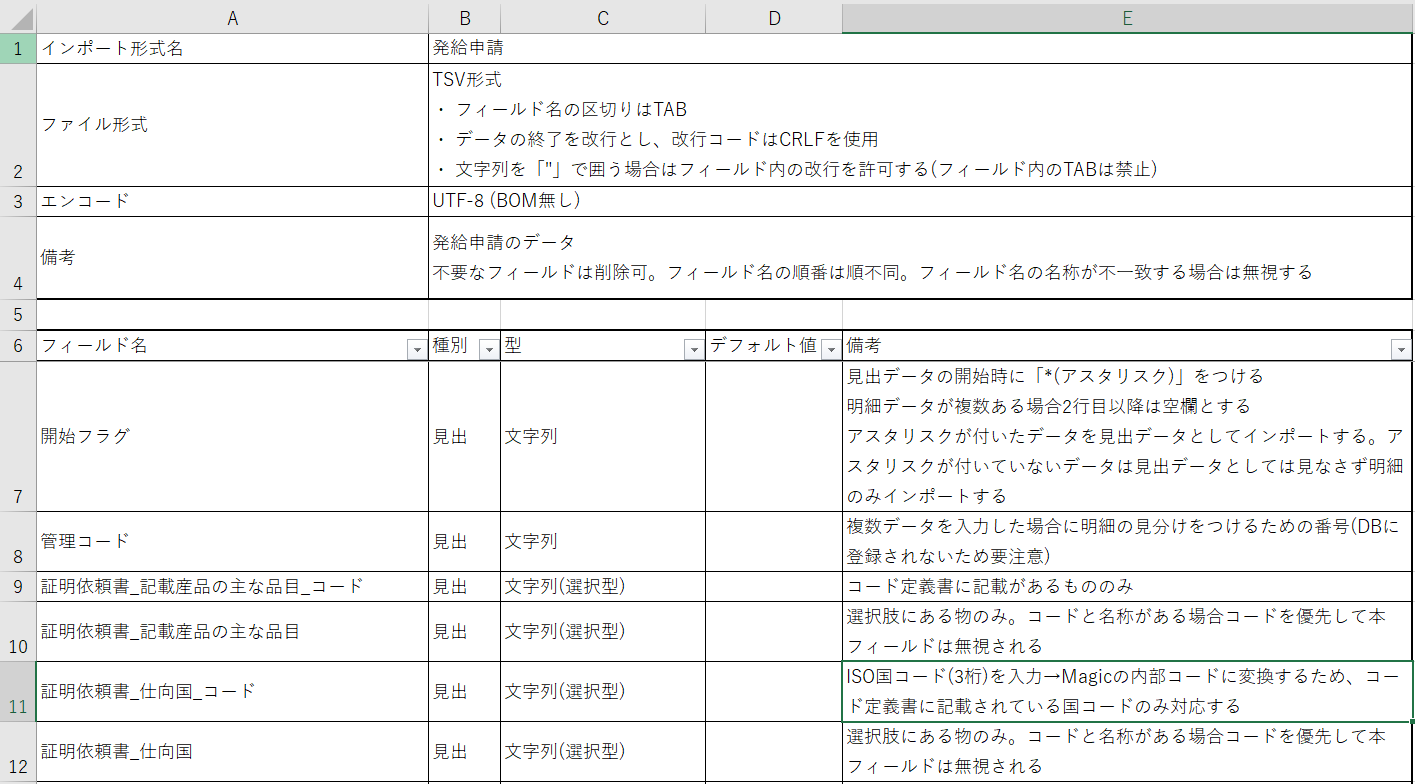
本機能を利用するためには、TSVファイル（指定様式）を作成いただく必要があります。詳細は「TSV定義書」、「サンプルファイル」をご参照ください。

## （２）TSV定義書

以下より、ファイルをダウンロードしてください。

<https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_teigi.xlsx>

（TSV定義書イメージ）



（注意事項）

・取り込み不要なフィールドは削除してご利用ください。

・フィールド名を見て取り込むため、作成するファイルの列の並び順は任意です。

・外国産原産地証明書の場合、フィールド「原産地明細\_原産国」はTSV定義書の国一覧にある「国コード」または「国名\_英文」と完全に一致している必要があります。

## （３）サンプルファイル

①TSV形式

<https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample.txt>

②EXCEL形式（加工後、TSVに変換してご利用ください）

<https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample.xlsx>

# ３．TSVインポート機能の利用方法

## （１）画面操作の流れ

システムにログインし、メインメニューの「発給申請」をクリック

テーブル が含まれている画像

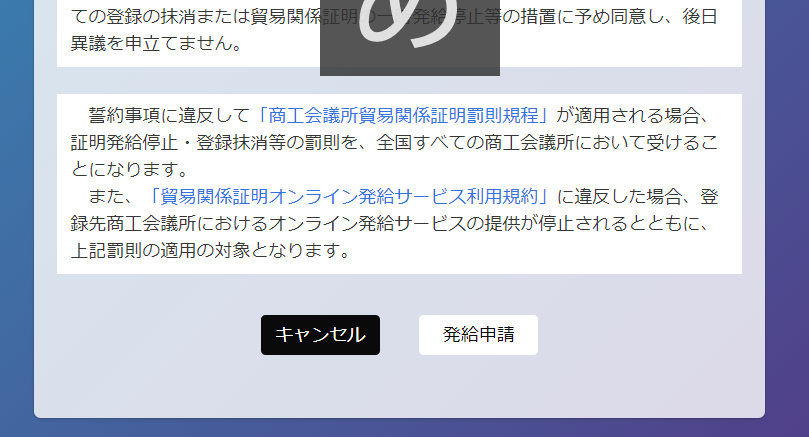
自動的に生成された説明

「原産地証明書」をクリック

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Web サイト

自動的に生成された説明

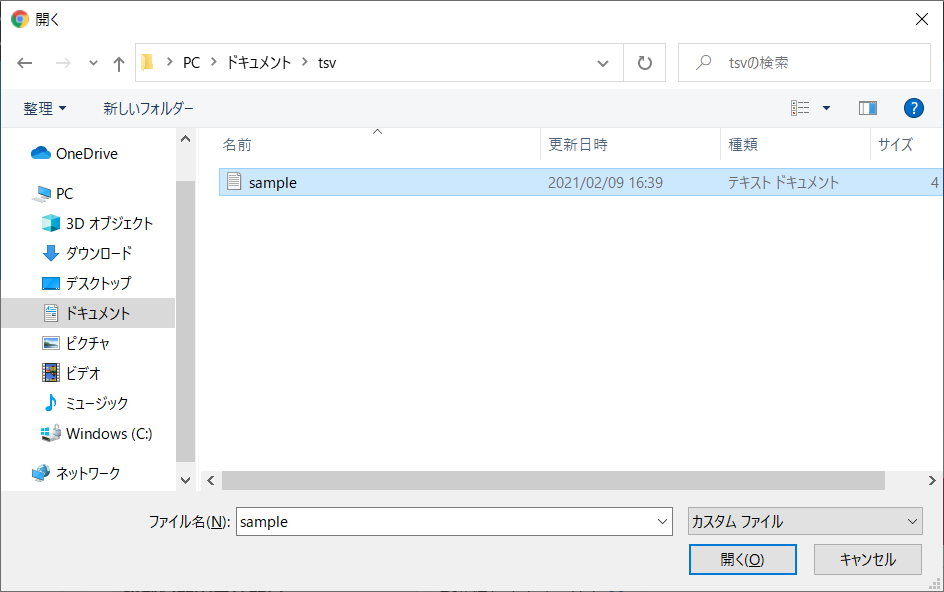
誓約事項をご確認いただき、「発給申請」をクリック



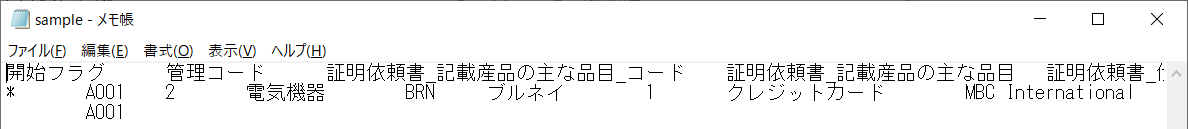
「TSVインポート」をクリック



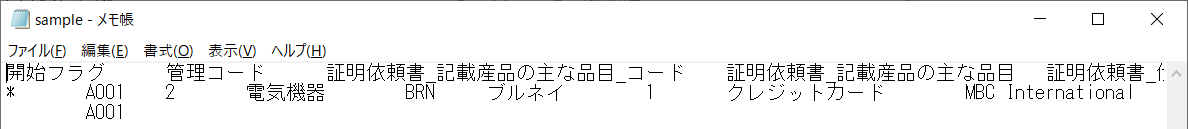
予め作成しておいたTSVファイルを選択し「開く」をクリック



（sampleファイルの内容）



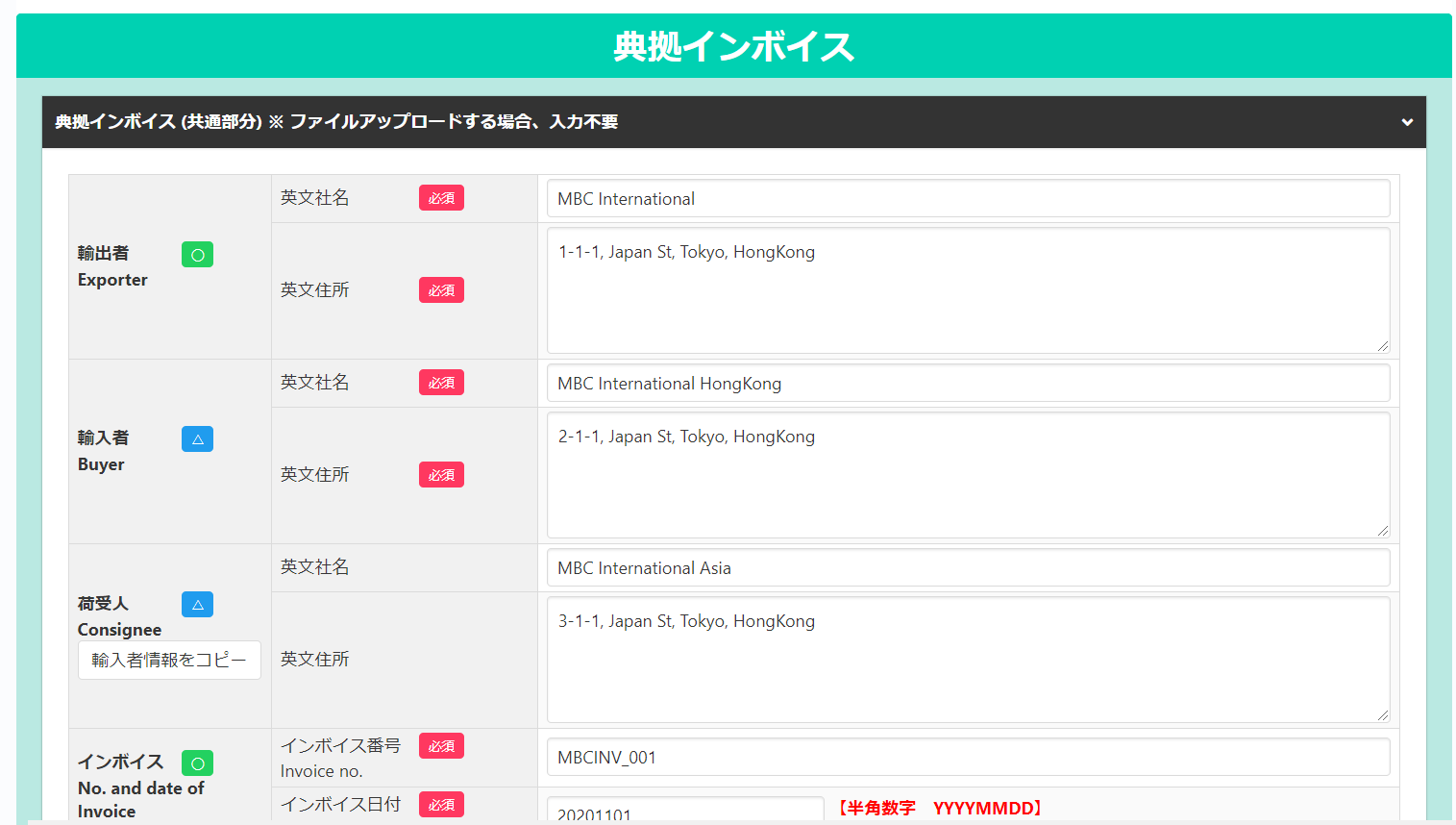
TSVファイルの内容が画面に反映されます。





※インポートと同時に申請が完了するわけではありません。作成したファイルを試しにインポートして反映結果を確認いただくことも可能です。

典拠インボイス、原産地証明書の内容も同様に反映されます。





TSV取り込み後、修正があれば入力内容を修正します。

問題なければ発給申請をクリックして申請が完了します。

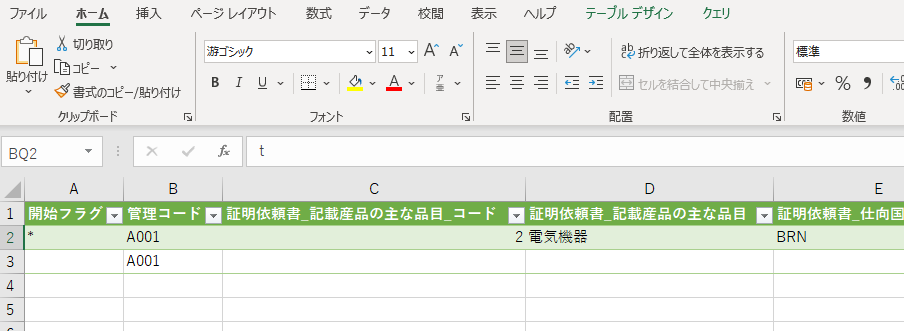


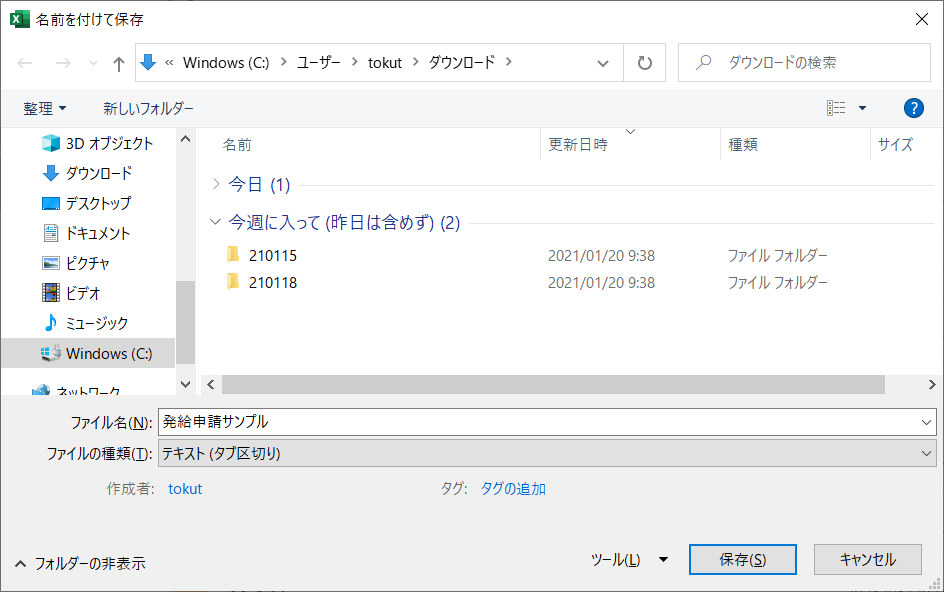
# ４．その他の事項

## （１）エクセルから作成するTSVファイルの文字コード確認・変換方法

TSVファイルを作成後、文字コードがUTF-8とならない場合は変換作業が必要です。

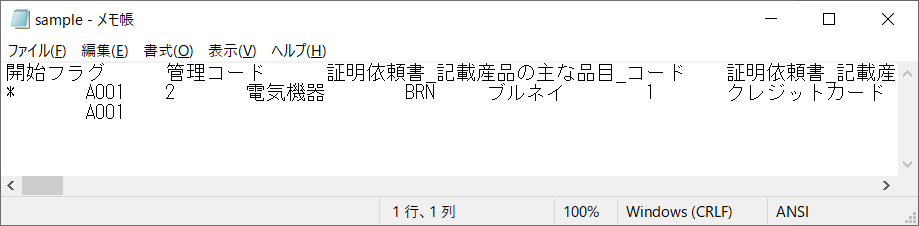
エクセルでTSVファイルの元データを作成します。



ファイルの種類「テキスト（タブ区切り）」で保存します（TSV形式で保存されます）

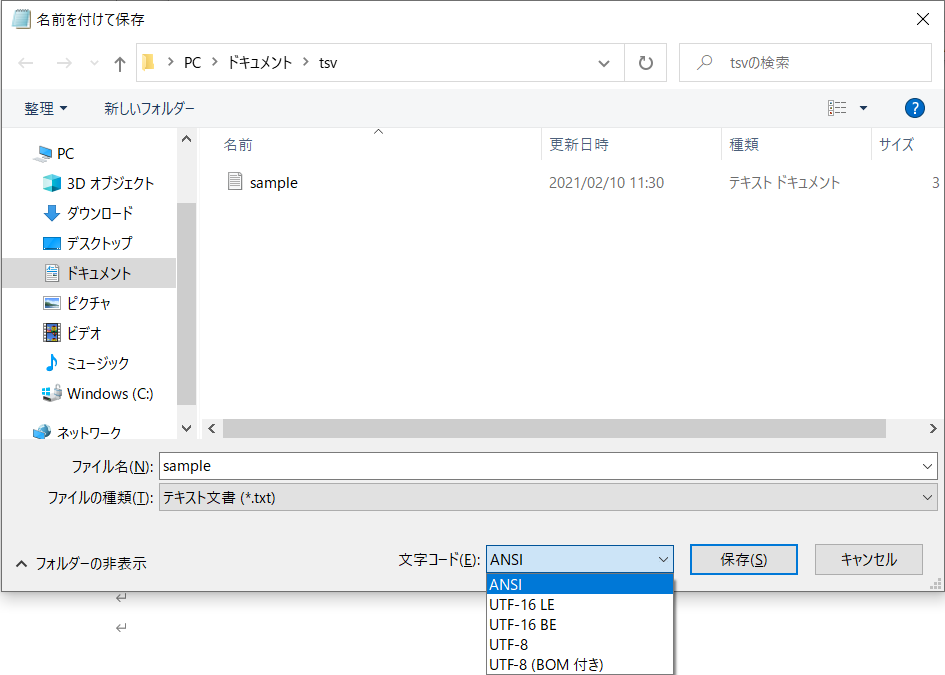
ファイルをメモ帳（notepad）で開き、右下に表示されている文字コードを確認します。

UTF-8以外の場合、変換が必要です。



文字コードをクリックし、「UTF-8」を選択して保存をクリックします。

※UTF-8（BOM付き）では取り込みができませんので、ご注意ください。



文字コードが変換されました。

